

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【公開番号】特開2012-181684(P2012-181684A)

【公開日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-038

【出願番号】特願2011-44252(P2011-44252)

【国際特許分類】

G 06 K 19/077 (2006.01)

G 06 K 19/07 (2006.01)

【F I】

G 06 K 19/00 K

G 06 K 19/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月13日(2013.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有線通信及び無線通信に共用のR F I Dタグであって、

無線通信用アンテナの配線を有線通信用の配線に共用し、且つ、有線通信時に前記無線通信用アンテナの配線が高周波整合部品により分離されることを特徴とするR F I Dタグ。

【請求項2】

有線用通信端子が前記無線通信用アンテナ上の少なくとも一部として設けられていることを特徴とする請求項1に記載のR F I Dタグ。

【請求項3】

前記無線通信用アンテナは電源用アンテナと通信用アンテナからなり、前記電源用アンテナの配線を有線電源用配線に共用し、前記通信用アンテナの配線を有線通信用配線に共用することを特徴とする請求項1もしくは2に記載のR F I Dタグ。

【請求項4】

前記無線通信用アンテナは電源・通信兼用アンテナからなり、前記電源・通信兼用アンテナの配線を有線電源用配線又は有線通信用配線に共用することを特徴とする請求項1もしくは2に記載のR F I Dタグ。

【請求項5】

前記無線通信用アンテナはループアンテナからなることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のR F I Dタグ。

【請求項6】

前記高周波整合部品は、前記ループアンテナ上に設けられていることを特徴とする請求項5に記載のR F I Dタグ。

【請求項7】

前記高周波整合部品は、高周波数ではリアクタンスが略ゼロを示し、低周波数ではリアクタンスが大きくなることを特徴とする請求項6に記載のR F I Dタグ。

【請求項8】

前記無線通信用アンテナはダイポールアンテナからなることを特徴とする請求項1乃至

4のいずれか1項に記載のRFIDタグ。

【請求項9】

前記無線通信用アンテナは平面パッチアンテナからなることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のRFIDタグ。

【請求項10】

前記平面パッチアンテナのパッチ部を有線用端子に共用することを特徴とする請求項9に記載のRFIDタグ。

【請求項11】

請求項1乃至10のいずれか1項に記載のRFIDタグが搭載されていることを特徴とする電子機器。